

# 落合由利子写真展

## 絹ばあちゃんと90年の旅



なにげない日常の「瞬間」からそれぞれの生き方が、人生の物語が見えてくる。

喜びと悲しみ、過ぎた時間の重みは永遠に消えない…。

丹念な取材を積み上げ写真の中に深く人生を感じさせる落合由利子さんの写真展が、はじめて大田区で開かれます。

## 働くこと育てること

人の暮らしや営みをテーマとした作品を発表している写真家、落合由利子さんの2つのシリーズの作品展です。

子育てしながら働く人々の等身大の姿を撮影した「働くこと育てること」、旧満州での苦難の時代を過ごし伊豆の天城に住む女性を取材した「絹ばあちゃんと90年の旅」、どちらも必見の作品です。

2014.

**8/8(金)~8/30(土) 9時~21時**

**エセナおおた 1階展示コーナー**



## PROFILE 落合由利子さん

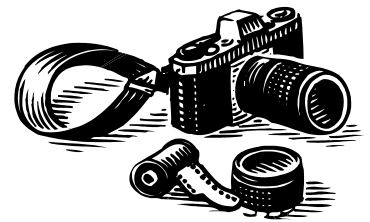
写真家。1963年埼玉県に生まれる。日本大学芸術学部写真学科卒、写真スタジオを経て独立。1989～1992年ベルリンの壁崩壊後の東欧の人々のポートレート、ルーマニアの農村の営みを撮影。「人間」「流れ」「光」をテーマに写真を取り続けている。現在「母の友」（福音館書店）に「戦争は知らないけれど」を連載中。写真展に「日本国ルーマニア人物語」（フォーラム横浜）「働くこと育てること」（横浜女性フォーラムほか全国巡回）「落合由利子写真展」（滋賀県立水口文化芸術会館）他。著書に「働くこと育てること」（草土文化）、「絹ばあちゃんと90年の旅- 幻の旧満州に生きて」（講談社）。共著に「感情のABC」（草土文化）「ときをためる暮らし」（自然食通信社）他。

だれのなかにも物語がつまっている

生きるということはそれだけたいへんで

おもしろいことなのだと思う

「働くこと育てること」より



内閣府が発行している男女共同参画白書によると、共働き世帯は年々増加し、平成9年以降は共働き世帯が働く夫と専業主婦の世帯数を上回っています。しかし出産前に仕事をしてきた女性の約6割が第一子出産後に仕事を辞めているという調査結果が掲載されています。

この写真展を通じて「働くこと」と「育てること」が両立できる社会について考えてみませんか。

### ■主催・問合せ先

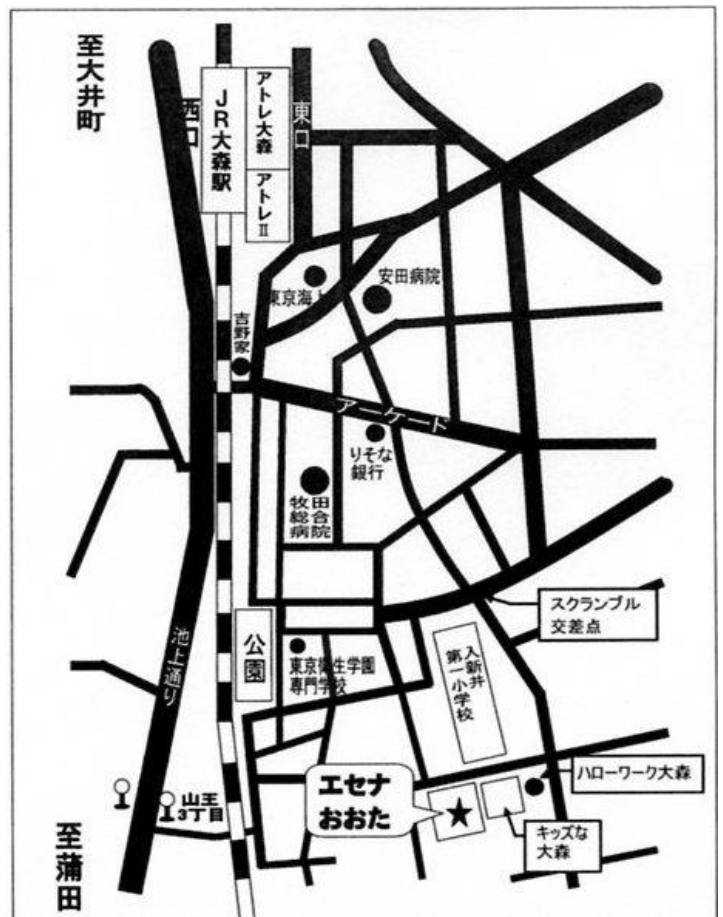
#### 大田区立男女平等推進センター 「エセナおおた」

〒143-0016 大田区大森北 4-16-4

TEL : 03-3766-4586

FAX : 03-5764-0604

E-mail : escena@escenaota.jp



JR京浜東北線 大森駅より徒歩8分  
駐車場はありません。